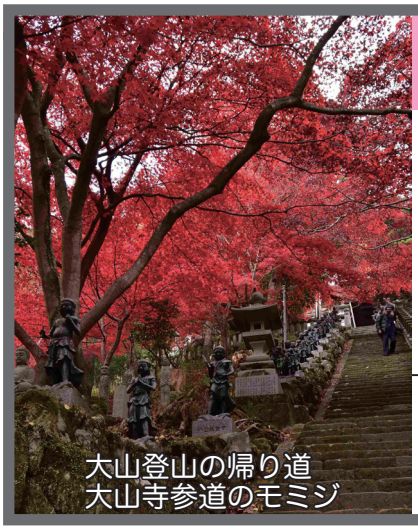
東京清掃労働組合退職者会機関紙

清友

No.171

2023年11月

（2023年11月7日発行）



大山登山の帰り道
大山寺参道のモミジ

東京清掃労働組合退職者会
〒102-0072　千代田区飯田橋3－9－3　SKプラザ5F
TEL 03（3237）9995　　FAX 03（3237）4541

大軍拡「増税メガネ」岸田政権を許さない！
パレスチナ人民のジェノサイトを許さない！

憲法公布77年の11月3日、国会正門前に4千人が結集し、『つなごう憲法をいかす未来へ11・3憲法大行動』が行われました。

ロシアによるウクライナ侵略戦争で多くの市民が殺されています。ハマスのロケット攻撃に端を発したイスラエルによるガザ地区攻撃はジェノサイトの様相となっています。集会では、武力による侵略と日本の軍拡路線に対する抗議の声が集中しました。

表現と社会問題を繋ぐ活動を進めている
「公園でchill」のオープニング

休田だから大変なんだけど
東京清掃の仲間も多数参加

オジサン政治に明日はない

集会メインスピーカーの齋藤小百合恵泉女学園大教授（憲法学）は、「岸田改造内閣の副大臣・政務官は女性ゼロ、大臣に5人女性がいるが女性登用とはいえない。政府はこれをおかしいと思わないのか。オジサン政治は何を作り出すのか、どんな国か。戦争をできる国、戦争に向かう政治だ。女性に発言させない家父長制的政治は、暴力・武力により他者を押さえつける構造に向かう。日本国憲法の理念と対極にある」と批判しました。

外交で戦争は防止できる

続いて二人目のメインスピーカー清水雅彦日体大教授（憲法学）は、「武力に頼ることなく、外交で安全を保てる。外交がしっかりしていれば、戦争にはならない。」と。

「増税メガネ」岸田退陣！

リレートークでは、沖縄から、普天間騒音問題裁判で国は「普天間は高台にあり津波等危険もない適地。重要な基地なので被害は受容しろ」と、一方、辺野古埋立代執行問題では「普天間では付近住民に危険が迫っている」と言うデタラメな対応が、福島からは被災者切捨ての現実が、マイナ保険証では大企業優先政策の実態が明らかにされ、痛烈に政府批判。「増税メガネ」岸田はただちに退陣しろ！

大探検！猿島の90分、最高！

出たとこ勝負ツアー、今年も結果オーライ？

今年の退職者会親睦旅行は「猿島探検とよこすか満喫ツアー」。さて、どんな塩梅に。

出だしで早くもハラハラ

10月20日7時半、品川駅京急乗換口集合。「時間が早すぎる」と約1名から文句。うるさいよね。ここで、早速のトラブル。『よこすかきっぷ』ではなく『みうらまぐろきっぷ』を買っちゃった人が。高齢者集団特有のちょっとした事件。

ラッキー！思わぬ幸運に

京急結構混んでるじゃん、なかなか座れない。汐入で下車、ぶらぶら歩き三笠公園の猿島渡船場へ。ここで思わぬ幸運。事前にネットで調べ運行会社の30分ツアーを申込むつもりでしたが、横須賀市認定専門ガイドツアーの客引きに遭遇。料金は同じで90分、しかも弾薬庫等の通常施錠されて入れない所もだって。即決で依頼。早速、結果オーライ。

圧巻のガイドツアーでした

猿島まで船で約10分、航路の最深部は40ｍくらい。

充実の90分が始まります。

見学スタートは120年動き続けている『発電所』。今はディーゼル発電。防御のため掘られた切通しを歩く、雰囲気抜群。フランス式築城術による要塞の風情が色濃くなり、地下壕の兵舎、次に弾薬庫へ。いずれも施錠されていて専門ガイド同行ではないと入れない場所。ライトで照らされた室内はちょっとカビ臭くヒンヤリ。レンガ積みはフランス式。

トイレ等生活空間の跡も残る切通しは石垣やレンガと苔が美しいハーモニー。総レンガの大トンネルを抜けるとそこはラピュタの世界。いいね。

島の上には4つの砲台跡、眺望が見事な台場、敗戦間際に設置された高角砲砲座跡等、ちなみに猿島山頂の海抜40ｍ展望広場は神奈川百名山。

ガイドさんの説明に聞き入っているうちにあっという間の90分が過ぎました。

「楽しかったね」の感想

船で三笠公園に戻り、『よこすかポートマーケット』内の『船主』にてランチ宴会。フードコートなのが興醒め？　料理が美味しかったし、たっぷり飲めたからいいや。『よこすかきっぷ』についてくるお土産をゲットしたり、ぶらぶら横須賀中央駅まで歩き、解散。

ハラハラしたけど、参加者から大好評。結果オーライ。

地下壕の弾薬庫跡内、ライトで照らし説明
（専門ガイドと一緒でなければ入れない）

長いトンネルを抜けるとラピュタの世界であった

カンパ～イ、いつものように盛り上がりました

来春までの主な行事

毎月何かを

11月14日に谷中探訪

既にお知らせしていますが、11月14日は「谷中探訪」です。谷中は最近外国人に人気で、レトロな街並みや寺町が受けているようです。

そんな街を台東区ボランティアガイドの案内でめぐります。意外な新しい発見があるのではないかと思います。

▼集　合　10時00分
　JR「日暮里」駅北改札口

夕焼けだんだんと谷中銀座

▼ランチ　日暮里駅南改札口下で海鮮&ビール
▼会　費　2千円

1月27日に新春の集い

来春行う『新春の集い』も予定に入れておいてください。

■日　時　1月27日（土）
　11時45分開始
■会　場　飯田橋「楼蘭」の予定（美味しい中国料理店）
■会　費　2千円の予定
例年好評の長寿・喜寿お祝い、開運くじ引き大会など「お楽しみ会」も行います。参加募集は12月です。

昨年の「新春の集い」

2月に観劇会を予定

毎年『演芸を楽しむ会』を行っていましたが、会場の国立演芸場は建替えで閉鎖。代わりを探す過程で「大衆演劇って観たことない」の声。それならと企画しました。

★実施案　『浅草木馬館』
　昼の部（12時～15時30分）
　開催月により座が変わる。
★参加費　500円の予定
★交流会　観劇後、近くの居酒屋（ホッピー通り等）で、参加費自己負担により。

3月以降もいろいろ

●学習交流会24春
〈開催日〉　3月上旬か中旬
〈テーマ〉　頻尿と生活習慣病、健康で長生きするために
〈講　師〉　平野敏夫さん
　（東京清掃顧問医）

●お花見ウォーキング24
〈開催日〉　3月下旬
〈場　所〉　飛鳥山公園を予定
〈打上げ〉　王子あたりで一杯

●墨田フィールドワーク
〈開催日〉　4月下旬か、5月中旬
〈場　所〉　両国界隈を探訪、ちゃんこでシメ。

飛鳥山公園（ケーブルカーに乗って）

『都庁退学習交流集会』6年ぶりに開催

9月24日～25日、箱根路開雲において『東京都庁職員退職者連合会（都庁退）宿泊学習会』が開催され、佐藤副会長、岡澤副会長、箱田幹事、纐纈幹事が参加しました。

都庁退宿泊学習会は、財政事情から1年おきの開催としていますが、コロナの影響で実に6年ぶりでした。1日目は「学習会」、2日目は「組織強化の課題」がテーマでした。

自公政権の軍拡と増税がもたらすもの

学習会のテーマは「自公政権の軍拡と増税がもたらすもの～受け入れがたい未来にどう対峙するか」、講師は東京平和運動センター事務局次長の林　健さんでした。

■以下講演内容

憲法の危機はどのレベル？

相撲に例えると俵に足がかかり、一押しされればすぐに土俵を割るような状況。岸田内閣は、国会や自民党憲法改正実現本部等で「総裁任期中に憲法改正したい」「憲法改正への思いはいささかも変わっていない」「自衛隊を憲法に明記することが重要」などと発言している。

自公政権にとってウクライナ戦争の勃発は、好都合だった。戦争が長期化する中、他国が日本に進攻した場合を想定した敵基地攻撃を可能とする大軍拡を目指す「安保関連三文書」を閣議決定。防衛費倍増、軍事産業保護政策を打出し武器輸出三原則解禁をもくろんでいる。5カ年43兆は、どう考えても「大増税」しかない。軍事による国家の安全保障でなく、人間の安全保障を外交により枠組み作りすることが求められている。

少子高齢化が進む中、政府与党は年金の議論を本格化している。給付水準の低下に歯止めをかけるため、保険料給付を65才まで延長することなどが焦点。24年には、将来の年金基準の見通しを示す「財政検証」が実施される。

サラリーマン増税をしないと言っているが、政府税調の中間答申の中身は「増税」オンパレード。退職金増税、通勤手当課税、各種控除見直しなど、物価上昇の中で生活に直結する問題だ。

憲法審査会で何が議論されているかが重要であり、私たちも知る必要がある。特に、とても民主主義国家の政党とはいえない『日本維新の会』の対応は警戒しなければならない。「核共有の議論をする時だ」「来年9月までに改憲に向け決断を」と主張している。

軍拡・増税路線の行き着く先の日本社会は、受け入れがたい未来になる。それに対峙するため闘おう。

会員の減少、役員の成り手不足など悩み多し

2日目は組織財政強化対策拡大単会会長会議で、「単会の現状と組織拡大」がテーマ。

各単会とも会員が減少傾向にあり、役員の成り手に苦労し、高齢化により散策行事等が困難になっていることなどが共通の悩みでした。また、来年から始まる定年延長への対策の必要性なども話されました。どの単会も結構厳しいようですね。（岡澤・纐纈記）

ちょっと微妙だったかな？都庁退親睦交流会
軍港横須賀めぐりと三崎まぐろ・温泉

東京都庁職員退職者連合会（都庁職）の親睦交流会（バスハイク）が、10月6日、32名の参加により行われました。清掃の参加者は佐藤晋一さん、岡澤徹さん、小林守さん、箱田修一でした。

スタートからアレレ？

都庁第二庁舎脇に集合でしたが、参加者のひとりが30分以上遅れ、企画担当役員も出発時刻に間に合わず現地合流となり、バス内でのコース説明は口頭。スタートから盛上りに欠ける印象に…むむ。

軍港めぐりは迫力満点

最初の見学は「横須賀軍港クルーズ」、船に乗り停泊している米軍・自衛隊の艦船を観るという趣向。この日はなぜか「イージス艦」が揃っていました。また、空母に改修される『いずも』は停泊していましたが、寄港反対闘争の対象、米空母『ドナルド・レーガン』は既にいませんでした。

黒塗りの潜水艦が4隻停泊、色が色だけに海の忍者らしい異様さが目立ちました。4隻も集結するのはめずらしいと、説明者自身が興奮していました。ふ～ん。一方で、自衛隊運用の南極観測船『しらせ』の白とオレンジの船体がとても印象的でした。

ランチもトホホ？で…

昼食は三崎港の「まぐろと地魚」の店。期待していましたが、トラブルがあって、事前に注文していた品ではなく別メニュー。まぐろづくし丼はおいしかったけど、ガッカリ感が…。

その後、横須賀馬堀海岸の絶景露天風呂が売りの『湯楽の里』へ。結構込んでいました。全体としては楽しめましたが、ちょっと微妙なバスハイクでした。

（箱田修一記）

来年の年金額はアップ 実質年金水準はダウン

今春闘の総括を連合が明らかにしました。一般労働者の賃上げは2.2％でしたが、物価は3.2％上昇と分析しており、実質賃金は低下しています。

この状況下、来年度の年金額はどうなるのでしょうか。

年金額決定の要素は賃金と物価。現時点では数値が出そろっておらず推計になりますが、「名目手取り賃金変動率」（過去3年平均の実質賃金変動率＋前年の物価変動率＋可処分所得割合変動率）は、3％前後と推定され、物価変動率を下回るとみられます。

賃金と物価がともに上昇し、物価変動率の方が高い場合、賃金変動率が適用されます。

ただし、マクロ経済スライド調整が控えています。コロナの影響で0.4％程度のマイナス調整になると想定されます。年金額は2.5％程度上がる可能性があるものの、物価上昇率を下回り、実質目減りすることになりそうです。

狭山事件の再審を求める市民集会

石川一雄さんも袴田巌さんも無実だ！東京高裁は狭山事件の事実調べを行え！

一日も早く再審無罪を実現させよう！

えん罪と闘ってきた足利事件菅家さん、袴田事件巌さんの姉袴田ひで子さん、石川早智子さん、石川一雄さん、東住吉事件青木恵子さん、湖東記念病院事件西山美香さん

1963年5月1日、埼玉県狭山市でおきた女子高校生殺害事件、いわゆる狭山事件で、石川一雄さんがえん罪を叫び続けて60年になります。

石川さんは1か月におよぶ警察の取り調べで「ウソの自白」を強要され、一審で死刑、二審で無期懲役の判決を受けました。この二審の東京高裁判決（寺尾判決）から49年目の10月31日、『狭山事件の再審を求める市民集会』が日比谷野音で開催されました。第3次再審を求めている今も、不当な寺尾判決が石川さんに「見えない手錠」をかけています。

再審開始求め、決意固める

会場には全国から再審開始を求める多くの人が結集し、いよいよ本当の山場に来ている狭山闘争の勝利をめざして、熱い雰囲気に包まれました。

石川一雄さん・早智子さんとは半月前の10月15日に狭山現調（報告は次ページ）でお会いしたばかりでしたが、証人尋問とインク鑑定の事実調べを求め、いつにも増して力強いアピールを行ないました。

弁護団からは昨年8月に提出した「11人の鑑定人の証人尋問と万年筆のインクの鑑定」に関わる詳細な説明と三者協議の状況が報告され、12月に退官を控えている大野裁判長に最低でも再審につながる決定を求めることを訴えました。

冤罪なくせ！被害者が訴え

連帯アピールでは、まっ先に10月27日に再審が開始された袴田事件のお姉さん・袴田ひで子さんが壇上に立ち、再審公判の様子をお話しされ「次は狭山です」ときっぱり言い切りました。8月に亡くなった布川事件の桜井昌司さんの姿はありませんでしたが、足利事件の菅家利和さん、東住吉事件の青木恵子さん、湖東記念病院事件の西山美香さんと、再審無罪を勝ち取ったえん罪被害者が次々とアピール、狭山再審闘争勝利のために闘うことを力強く訴えました。

集会後は東京高裁や霞が関一帯をデモでアピールし、早急な再審の実現を訴えました。

（押田五郎記）

27年連続の狭山現地調査
冤罪はかくしてつくられた 再審無罪実現まで闘い抜こう

朝の雨が午前中の学習中も続き心配でしたが、午後からの現地調査では見事に晴れて、日頃の行ないの良さが証明された10月15日、清掃・人権交流会と東京清掃労働組合が交互に主催し27年連続となる狭山現地調査が行なわれました。

今回から、コロナ禍前と同じように朝からのスケジュールに戻しました。初参加の若い仲間も多数迎えて総勢28名による開催となりました。

石川一雄さん、早智子さんを囲んで

意気軒昂に再審開始を求める石川一雄さん、早智子さん

真剣にお話しを聞く参加者

石川一雄さんと早智子さん「再審開始」を力強く訴える

午前中は、狭山事件の経過や現状を訴えるビデオを鑑賞したのち、部落解放同盟東京都連書記長の近藤さんから事前学習と現地調査のポイントを講演していただきました。

昼食休憩をはさんで、石川一雄さんと早智子さんが会場の富士見集会所に駆け付けてくれ、お二人からは「目や耳に不自由さはあるが、無実を求めて意気軒高です。みなさんの支援が本当に力になる。袴田巌さんの再審も始まる。裁判所は一日も早く事実調べを行ない新証拠を精査し、再審開始を決断してほしい。大野裁判長が12月に退任するが、必ず再審の道筋を開くことを求めたい」と力強く訴えられました。

現地を歩けば「ウソの自白」～白日のもと明らかになる

午後から、近藤書記長と郡司さん（人権交流会副会長）が案内役の2班に分かれ、現地調査を開始しました。

現地事務所の「被害者の万年筆が発見されたとされているお勝手のかもい」をはじめ、石川さんの「ウソの自白」に基づいて現地を歩き、いかにその「自白」がでたらめで、石川さんの「犯行」がありえないかを実地に確認しました。

「ウソの自白通りなら犯行はありえない」現地調査で説明する郡司さん

現地を回り終えた2つの班の仲間は、再度現地事務所で合流し、早智子さんを囲んで全員が感想を述べました。初参加の仲間からは「初めて事実を知った」「職場の仲間や家族にも話し、支援を広げていきたい」「話を聞くだけでなく、現地を歩くことは本当に重要だと感じた」と積極的な発言が相次ぎました。

一日も早く再審を実現し石川さんの汚名を晴らそう

石川さんはもう84歳。何としても一日も早く再審を実現し、「殺人犯」の汚名を晴らさなければなりません。今は本当に最後の山場です。この闘いに勝利するためにも狭山現調は重要であり、差別の原点を教えてくれる貴重な機会です。これからもずっと続けていきます。来年もやりますので、ぜひ参加してください。

（押田記、写真は東京清掃提供）

10・27 東京総行動

トヨタとＪＡＬは争議を解決しろ！

みんなの力で不当解雇や労働条件不当改悪を許さない闘いを取り組む秋の東京総行動が、10月27日に行われました。早朝からの1日行動ではきついので、退職者会は夕方のフィリピントヨタとＪＡＬ争議支援を中心に取り組みました。

フィリピントヨタが労働組合忌避により237名を不当解雇してから23年、ＩＬＯ等の勧告を無視、団交すら拒否しています。親会社のトヨタは子会社に争議解決を指導する責任があります。まして、トヨタ自身、21年9月に『自動車人権方針』を公表し、国連「人権指導原則」に基づく人権尊重の取組みを進めると誓っていますから、なおさらです。トヨタは社会的責任を果たせ。

ＪＡＬ争議支援の闘いは有楽町のＪＡＬプラザ前で行われた座り込み行動に合流するかたちで取組まれました。165名の解雇は「必要のないものだった」ことが裁判などを通じて明らかにされています。ＪＡＬは誠意を示せ！

争議の解決へ向けて、12月22日に、「ＪＡＬ本社大包囲行動」が予定されています。

ブレーキの壊れた機関車岸田政権をトメロ！

臨時国会開会を翌日に控て、10月の19日行動が国会議員会館前で開かれました。

集会では、「増税メガネ」と揶揄される岸田首相の姿勢を批判する発言が相次ぎました。

パレスチナの民間人虐殺を止めるため、外交努力を！

主催者は、パレスチナで民間人のいのちが奪われていることに触れて「暴力の連鎖では事態は変えられない。日本政府は憲法の理念に則した外交を行え」と批判しました。

南西諸島は軍事要塞化 辺野古埋立ての代執行反対

市民からの挨拶の冒頭、『辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議』の糸数慶子共同代表が電話で発言。「南西諸島が軍事要塞化され、石垣ではオスプレイを使った米軍と自衛隊の共同訓練が行われており、沖縄が再び戦場になる危険が現実化している」「辺野古埋立てに関する最高裁判決は民意に則していない。超軟弱地盤で工事は長期化し、危険な普天間基地の返還はますます遅れる。国は代執行を止めて、沖縄県と対話すべきだ」と訴えました。

アメリカに加担する軍拡と改憲阻止へ野党共闘強化を

『オール埼玉総行動』の小出重義弁護士は、「6月4日に12回目の1万人集会を開催した。岸田政権はブレーキが壊れた機関車のごとく戦争への道を突っ走っている。アメリカに加担する軍拡路線と改憲策動を止めるため、野党共闘を強化しよう」と呼びかけました。

東京清掃の仲間も多数参加，頑張ってます

東京清掃賃金確定闘争に固く連帯

人事委員会勧告の概要

10月11日、特別区人事委員会は、①公民較差３７２２円（０・98％）解消のため、初任給、若年層に重点をおきつつ、全ての級・号給で千円以上の給料表改善、②特別給０・1月引上げ（一般職員は勤勉手当割振り、管理職員は期末・勤勉手当に均等配分）等とする報告と勧告を行いました。年間平均で10万2千円の増です。

不当な勧告内容に怒り心頭

全国最高水準のボーナスと全職員の月例給引上げ勧告は評価できると思いますが、特に中高齢層にとって充分な引上げとは言い難いものです。

そもそも、18年実施の行政系人事制度改訂に伴い大幅賃下げ勧告を行った影響により、政令指定都市中最低水準に落し込められている賃金構造の抜本的改善を勧告するものではないことが一番の問題です。

また、所謂「差額支給者」問題にふれているだけではなく、『人事・給与制度に関する意見』で、さらなる賃金抑制に繋がりかねない指摘をするなど、特別区人事委の悔い改めない姿勢は理不尽です。

ガンバレ！東京清掃！

東京清掃は、①行政職に比して低水準な現業賃金の抜本改善、②技能主任職任用資格基準等、技能・業務系人事制度改善を闘いの中心課題に据えています。

今年も厳しい闘いになると思いますが、退職者会は現役世代の闘いに固く連帯していきます。

東京清掃 23 賃金確定第一波総決起集会
（写真は東京清掃より提供）

連帯挨拶
（戸枝事務局長）

団結ガンバロウ発声
（多田委員長）

特別区人事委員会報告と勧告

【給与に関する報告・意見】

1．月例給

○公民較差 3,722 円（0.98％）
（給料 3,102 円、はね返り 620 円）

○給料表改定

＊初任給引上げ
（Ⅰ類 8,000 円、Ⅲ類 6,000 円増）

＊初任給、若年層に重点を置きつつ、全ての級・号給で 1,000 円以上引上げ

2．特別給（期末手当・勤勉手当）

＊民間の支給状況を勘案し、年間の支給月数を 0.1 月引上げ（4.55 月→ 4.65 月）

＊引上げ分は、民間の状況等を考慮し、一般職員は勤勉手当に割振り、管理職員は期末手当及び勤勉手当に均等配分

3．本年の公民較差算出と差額支給

＊本年の勧告は、差額支給者（18 年実施行政系人事給与制度改正に伴う給料月額が最高号給金額を超えて差額を支給されている職員）を公民比較から除外して公民較差を算出する一時的特例的な措置による。差額支給者を除外しない場合、公民較差は 2,526 円。

＊差額支給者は、着実な解消を図るべきものだが、差額支給者数は本年４月１日時点で 864 人、減少数は 283 人、任用面による解消は昇任者 24 人に過ぎない。引き続き、差額支給の着実な解消に向けて、より一層の積極的な取組を。

4．実施時期

＊月例給　2023 年４月１日

＊特別給　条例公布の日

【人事・給与制度に関する意見】

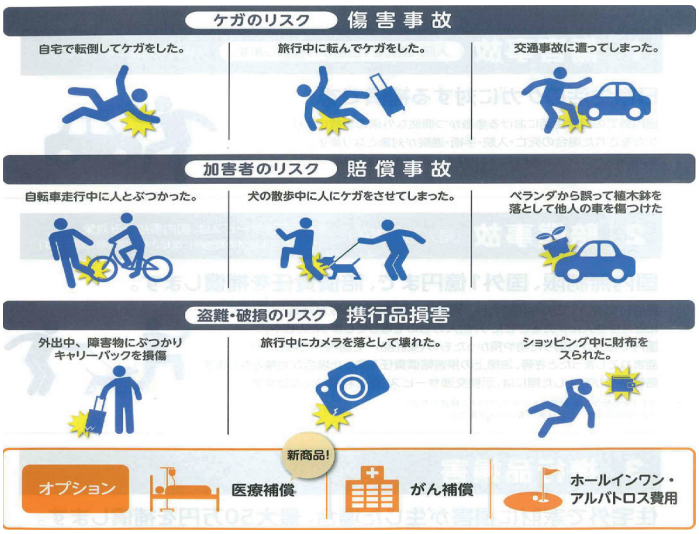
4．行政系人事・給与制度改正における現状と課題

■知識・経験が豊富な職員の活躍促進

・給与面においては、行（一）２級において高位号給職員の人数が増加していることに留意（特に最高号給適用者）。職員の平均給与が高くなり、公民比較において影響を及ぼす。

安心総合共済

安い掛金で大きなメリット



■3つの基本補償

①障害事故

日常生活のケガに対する補償。通院でも1日目から補償。（病気は対象外です。）

②賠償事故

個人賠償責任の補償。国内無制限、国外1億円まで（同居の家族も補償）。

③携行品損害

住宅外で家財が損傷した場合の補償。最大 50 万円。

オプション（別途追加保険料）

がん補償（89 歳まで）、ホールインワン・アルバトロス費用もあります。

■掛金と保障金額

		傷害天災補償あり		傷害天災補償なし	
契約タイプ		本人型	夫婦型	本人型	夫婦型
年間掛金（一時払）		17,350円	29,360円	14,540円	23,850円
保険金額 傷害事故	死亡保険金	250万円		250万円	
	入院保険金日額	4,000円	4,000円	4,000円	4,000円
	手術保険金*1	（入院中）4万円 / （入院中以外）2万円	（入院中）4万円 / （入院中以外）2万円	（入院中）4万円 / （入院中以外）2万円	（入院中）4万円 / （入院中以外）2万円
	通院保険金日額	2,500円	2,500円	2,000円	2,000円
賠償事故（個人賠償責任）1事故限度額		国内 無制限、国外1億円（免責金額0円）		国内 無制限、国外1億円（免責金額0円）	
携行品損害 お支払い限度額		国内外 すべてのタイプ 保険期間を通じて 50万円（免責金額（自己負担額）1事故につき5,000円）		国内外 すべてのタイプ 保険期間を通じて 50万円（免責金額（自己負担額）1事故につき5,000円）	

*1 手術保険金はケガによるもので、入院中の手術は、入院保険金日額の10倍、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍となります。傷の処置や抜歯等お支払いの対象とならない場合があります。
※上記掛金には、制度運営費（1年あたり本人型1,200円、B1・夫婦型2,400円）が含まれています。詳細は自治退共済会までお問い合わせください。

新規加入した方へ 5千円キャッシュバック

安心共済はお得

全日本自治体退職者会が取り扱う会員向け損害保険『安心総合共済』は、高い団体割引率が適用されて掛金が安く、加入にあたっての年齢制限がなく、医師の審査も不要（がん補償を除く）など、メリットが一杯です。

また、①緊急医療相談、②医療機関案内、③予約制専門医相談、④転医・患者移送手配などに対応する「メディカルアシスト」は、非常に便利です。他社の損害保険ではほとんどが有料ですが、『安心総合共済』は無料、その上、法律・税務相談や社会保険の相談、電話介護相談などの「デイリーサポート」と「介護アシスト」もついています。

自転車保険に該当

東京都は自転車保険加入を義務化しています。『安心総合共済』は、自転車保険に該当しており、安心をお届けできます。

5千円バックでさらにお得

新規加入した方には、5千円キャッシュバックもありますから、さらにお得です。

再任用の方も加入可

再任用組合員は退職者会の準会員ですので、『安心総合共済』に加入できます。勿論、キャッシュバックも対象になります。競合する他団体の保険より有利です。是非ご検討ください。